

iPad を活用した情報活用能力の育成

新潟市立東中野山小学校
細野 宏輝（平成 27 年度）

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）を受け、新潟市の「令和 4 年度学校園教育の重点」には、情報活用能力を言語能力、問題発見・解決能力と並ぶ学習の基盤となる資質・能力と位置付けてある。そして、情報活用能力を大きく 3 つに分けると、「情報を集める力」「情報を整理・分析する力」「情報を伝える力」があり、それらは 1 時間の授業だけでなく、各教科や単元を通して育まれる、とされている。

そこで、児童一人一台の情報端末を活用した授業づくりの重要性が唱えられている現状を踏まえ、「iPad を活用した情報活用能力の育成」を主題とし、2 つの実践から、どのように iPad を活用して情報活用能力を育むのか、そして、育んだ情報活用能力をどのように活用して授業のねらいに到達させるのかを提案する。1 つ目の実践では、単元を通して iPad を活用して、情報活用能力を育成すること、2 つ目の実践では、児童の思考に沿って iPad を活用して、情報活用能力を発揮する場をつくることに重点を置いた。

それぞれの実践から見えた成果と課題をもとに、学習の基盤となる情報活用能力の重要性を明らかにする。